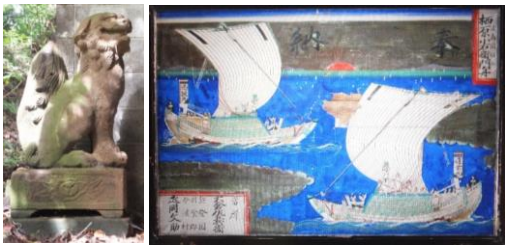


鶴岡市北前船日本遺産構成文化財一覧

変更 内容	番号	文化財の名称	写真	ストーリーの位置づけ
	1	加茂港周辺の町並み		北前船で栄えた当時の町割りがそのまま残っている加茂の町並み。
	2	いしなざかけ 石名坂家住宅主屋・蔵		北前船船主の家屋及び蔵。
変更	3	じょうぜんじ つりがね さんもん 浄禅寺の釣鐘と山門		北前船で財を成した商人たちから寄進された釣鐘と総ケヤキ造りの山門。
変更	4	ぜんぼうじ ごひゃくらかんどう 善寶寺五百羅漢堂と とうちうぐん 燈籠群		北前船で財を成した商人たちの寄進によって建てられた五百羅漢堂と531体の仏像、松前（北海道）や越後（新潟県）、山形県内陸部など全国の商人たちの名が刻まれた燈籠群。
	5	ちどう はくぶつかん 致道博物館所蔵の きたまえぶね かんれん しりょう ぐん 北前船関連資料群		北前船船主により奉納された船舶模型や船絵馬、四爪錨、出船手形、船鑑札、船筆筒等。
新規	6	かすが じんじや ふなえまぐん 春日神社の船絵馬群と こまいぬ 狛犬		松前（北海道）を代表する豪商栖原家から奉納された船絵馬と、丹後（京都府）の廻船問屋から奉納された狛犬。
新規	7	きょうど しりょうかん 郷土資料館所蔵の きたまえぶね かんれん しりょう ぐん 北前船関連資料群		加茂の廻船問屋と全国各地の商人との取引内容が記録された客船帳や船往来手形、加茂港での積荷の実態がわかる往来帳などの古文書のほか、港絵図や船筆筒、印章類、船旗等。

変更 内容	番号	文化財の名称	写真	ストーリーの位置づけ
新規	8	りゅうぐうじ ほんだう みずぶね 龍宮寺の本堂と水舟		本堂は北前船船主の石名坂金六が再建したもので、屋根瓦と本堂前の水舟に名前が確認できる。
新規	9	しょうりんじ さんもん 少林寺の山門		山門は北前船で長い間活躍した船の舟柱や板を再利用して造られている。
新規	10	かもぎか どうげどう 加茂坂峠道		加茂と庄内各地を結ぶ加茂坂峠道は物流の重要な道であったが難所であったため、北前船交易が盛んであった文化年間に、出羽三山湯殿山派の僧であった鉄門海によって新道が開削された。
新規	11	ひなにんぎょう ひながし 雛人形・雛菓子		城下町鶴岡には、北前船によって上方から、参勤交代等によって江戸から、様々な物資と文化が流入し、京と江戸、東西の雛文化が同時に成立・融合している。 鶴岡市内の多くの旧家には、秀逸な雛人形や雛道具が伝わっており、北前船で運んだことが墨書された収納木箱なども残されている。 また、雛人形に供えられる雛菓子も京と江戸の菓子文化から独自の発展を遂げ、盛菓子や生菓子で様々な縁起物や在来野菜・果物などが職人の技によって作られた。